

クラブ運営委員会

委員長 中島 徳政

副委員長 高橋 直人

クラブ運営委員会は、ロータリークラブの活動に於ける例会運営を担う委員会です。当委員会の出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会の3委員会が円滑で活力のある活動を展開することで、本年度会長の基本方針である「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む」を具現化するべく運営をして参ります。

新型コロナウイルス感染症の影響のある中ではありますが、創立85周年を顧み、未来への一歩として、メンバーが楽しく語らい学びあう例会の充実、行きたくなるロータリー活動を目指していきたいと思います。会員の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 【出席委員会】

委員長 樋口 貴広

副委員長 廣部 雅資

委員 及川 雅順 田中 正己  
篠原 実

例会に出席し顔を合わせ語り学びあうことは、ロータリーの楽しさを実感し友情を深めることができます。奉仕活動に参加することは、仲間との一体感や貴重な経験を得られ、さらには地域社会を育てることに繋がります。

「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」ため、一人でも多くの会員に一回でも多く出席していただくことを目標に活動して参ります。

1. 安心して例会に出席していただけるよう、新型コロナウイルス感染防止に取り組みます。
2. 各委員会と連携・協力して例会及び様々な活動への出席を促し、出席率の向上を図ります。
3. 定期的な出席報告と半期ごとの各会員累計出席率の掲示・通知を行い、出席意識の向上と会員同士の出席呼びかけに繋がります。
4. 他クラブの例会へ参加する『メイクアップ体験会』を実施し、メイクアップの利用に繋がります。
5. 出席率100%の会員を出席優秀者として記念品を贈呈します。

## 【親睦活動委員会】

委員長	瀧波 大亮
副委員長	石田 博司 松井 聖治
	芦名 健一 北畑 和博
	熊谷 任明 斎藤 史行
委員	杉浦 裕之 東堂 光春
	登坂 康弘 土橋 賢一
	西村 智久 前田 秀幸
	山田 浩司

本年度当委員会では、杉村会長が掲げるスローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』を、会員皆様に体感していただくことができるよう、ひとつひとつの事業の本質を熟慮しながら、企画運営を行ってまいります。特に本年度は、創立85年という歴史の節目である一面と、コロナ禍を踏まえた親睦を実現するという一面を併せ持った年度であることから、安全安心を重視した中で、ロータリー活動ができることの喜びを再認識していただける設えを心掛けてまいります。

会員皆様のご理解とご協力、そしてご参加を心よりお願い申し上げます。

### 事業実施計画

#### 1. クラブ来訪者への取り組み

SAA と協力し歓迎の意をもって来訪者を迎え、道外からの来訪者にはバナーを贈呈します。

## 2. 例会会場の座席配列

より多くの会員と交流ができるように座席配列を工夫します。

## 3. 記念品の贈呈

誕生日等のお祝いには記念品を贈呈します。

## 4. 年間行事予定

- 1) 納涼ビアパーティー
- 2) 野遊会
- 3) 新入会員歓迎会
- 4) 年末クリスマス家族会
- 5) 新年交礼会
- 6) キャンドルパーティー
- 7) その他親睦・懇親に関する行事

## 5. ニコニコ献金について

定められた目標額達成に努めてまいり所存です。

会員皆様のご協力をお願いいたします。

## 【プログラム委員会】

委員長 工藤 彦夫

副委員長 小野 正晴

委員 木下 正明 竹村 康治

委員 森村 好幸

プログラム委員会の目的はR I会長、地区ガバナーそしてクラブ会長の思いを考慮し、会員及び地域に有効でバランスの取れたプログラム例会を実施することにあると思います。

今年度、国際ロータリー シェカール・メータ会長は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」をテーマに、また国際ロータリー第2500地区 漆崎 隆ガバナーは「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」地区方針として掲げています。

そして、当クラブ杉村 莊平会長は「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」をクラブスローガンに掲げています。

当委員会はこれら全ての思いを念頭に置き、例会プログラムの充実を計るよう、努力いたします。

### 活動の要点

1. 地域社会の理解を深める。
2. 当クラブの理解を深める。
3. 会員の相互理解を深める。
4. 楽しく、有効でバランスの取れた例会を心掛ける。

## クラブ会報・会員組織委員会

委員長 村上 祐二

副委員長 白幡 博

クラブ会報・会員組織委員会では、R I 会長、漆崎ガバナーのテーマとスローガンを踏まえ、杉村会長のテーマ「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」をもとに、臨場感あふれる例会内容を克明に掲載するクラブ会報・雑誌委員会と、新たな会員の増強はもとより、例会への参加を促し退会防止を図る会員増強・選考・職業分類委員会の活動を支えて参ります。

また、創立85周年を迎える本年度、規律と寛容を両立した中で築き上げられた歴史と伝統を学ぶ一年であることを認識し活動に努めて参ります。

## 【クラブ会報・雑誌委員会】

委員長 横田 英喜

副委員長 柴崎 主悦

池田いずみ 打矢 静司

委員 川合 隆俊 関向 一

高橋 徹次

本年度の釧路ロータリークラブ杉村荘平会長は、「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」を方針に掲げ、ロータリー活動を通じ自身の心を豊かに成長させ、その心を家庭、職場、地域に持ち帰り、奉仕の実践に繋げるとしています。

そこで当委員会は、これらの方針に応えるべく、ホームページにおいて、①例会でメンバーが楽しく語らい、学びあう姿を掲載し、会員間の親睦を深め、また②奉仕プロジェクトや各委員会活動を紹介することにより、地域社会にロータリークラブの認識を深めることを目指します。これがRI 第2500地区漆崎隆ガバナーの掲げる「ロータリーのすばらしさを広げましょう」というスローガンにもかなうものと考えます。

本年度創立85周年を迎え、先達から受け継がれてきた我が釧路ロータリークラブの活動を 地域社会に周知することにより、釧路ロータリークラブの存在意義を再認識し、クラブ会員が積極的に活動することにより、新入会員希望者が増加するような次世代に繋げる活動目指し行ってまいります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 【実施要領】

1. ホームページでの例会報告
2. ホームページでの例会や委員会活動の紹介
3. ホームページの管理・更新・運営
4. 新たな情報発信方法についての調査、研究、実施
5. 「ロータリーの友」購読への一層の推進

## 【会員増強・選考・職業分類委員会】

委員長 五十嵐正弘

副委員長 池田 一己

伊原 明 尾越 弘典

委員 後藤 公貴 増田 牧

山原 活志 吉田 英一

今年度、会員増強・選考・職業分類委員会は、会長基本方針であります「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」の実践のために、また歴史と伝統ある釧路ロータリークラブのクラブ運営・活動を更に力強く推進するために、共に汗をかき共に笑い合える仲間を増やす取り組みが、何より大切であると考えます。

本年、我が釧路ロータリークラブは85年という、長く、輝かしい歴史の節目の年を迎えます。こ



の節目の年に何としても仲間を増やし、多くの仲間とロータリーを楽しみ、地域を育んでいきたいという強い想いをもち、活動して参ります。

そこで、本年度の具体的な目標としまして、純増5%（5名）必達を目指し、あらゆる先入観を捨てて幅広く会員増強に努めます、また同時に、現会員の大会防止にも尽力して参ります。

会員皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 【クラブ研修委員会】

委員長 脇 弘幸

副委員長 天方 智順

委員 舟木 博

会長基本方針では、ロータリーを楽しむことと豊かな地域を育むことが、より強く連携し好循環していく活動を目指すべきと示されています。そして、クラブスローガンに『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』と掲げられました。

クラブ研修委員会では、会長基本方針の下、会員が語らい学びあいロータリーの楽しさへと繋がる一助となるよう、理事会および各委員会と連携・協力を図り、ロータリーに関する情報や知識を提供するとともにロータリアンとしての意識の高揚に努めて参ります。

## 委員会活動目標

1. 入会オリエンテーションを適時開催する。

(新入会員へロータリーに関する基本的知識を提供する。)

2. 新入会員歓迎例会を企画・開催する。

(新入会員を知ってもらうとともに新入会員がクラブに慣れ親しむための機会とする。)

3. 情報集会（炉辺会合）を企画・開催する。

(自由闊達な意見交換により、会員相互の理解とロータリーへの理解を深める機会とする。)

4. クラブ研修セミナーを企画・開催する。

(ロータリアンとして必要とされる情報や知識を高める機会とする。)

5. 各種会合、事業等への参加を奨励する。

## 奉仕プロジェクト委員会

委員長 小野寺 俊

副委員長 白崎 義章

本年度85周年の節目を迎える我々釧路ロータリークラブですが、ロータリーの原点が、例会に出席しメンバーと語り学びあい自身を成長させ、それぞれの家庭や職場、地域にフィードバックさせることであることをふまえ、杉村会長は『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』と基本方針を掲げられました。

今年度RI会長シェカール・メータ氏は、謙虚な気持ちで奉仕することが誰かの人生、そして社会を豊かにしていき、その循環によって自らの人生も豊かになるという思いから、本年度テーマを『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』としました。

我々奉仕プロジェクト委員会は、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕及び青少年奉仕の各委員会活動を主導し、地域社会や国際社会への持続的な奉仕活動を行うべく、教育的、人道的、職業的支援の実現を目指し積極的に行動して参ります。

新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中ではありますが、当委員会活動が会員間の更なる親睦や地域社会への持続可能な奉仕活動へ寄与できるように、感染対策をしっかりと行い各種奉仕活動を行うように尽力して参りたいと思います。

各委員会のみならず、会員の皆様の知見、ご協力を頂きながら1年間努めて参りますので、何卒宜しくお願い致します。

## 【社会奉仕委員会】

委員長 菅原 顯史

副委員長 須藤 隆昭

委員 織田 亨 清水 幸彦  
長瀬 雅信

シェカール・メータ RI 会長はテーマの中で「私たちには、奉仕し、みんなの人生を豊かにする力と魔法があります」と述べられております。また、2500 地区方針には「地区の明るい未来の為に、地域の人々と、親睦と持続可能な奉仕活動の推進」が掲げられております。これらの言葉の意味するところは、我々ロータリアンが活動の土台とする『超我の奉仕』、つまり、社会奉仕を实践することで、地域の人々ともに明るい町をつくり、地域の人々の人生を豊かにし、地域の若者・子供達を育てていくことこそ、我々ロータリアンの社会的責務であるということに他なりません。

当委員会では、釧路ロータリークラブのスローガン「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」を基に、杉村会長の方針に従い、社会奉仕の实践を進めて参ります。ただ、实践の目標を大きく掲げることでハードルが上がり、取り組みが果たされないということも多々あります。大きな奉仕よりも小さな奉仕の实践の積み重ねが大切だと考えます。

創立85周年を迎える本年は、当クラブ会員ひとりひとりが楽しみながら社会奉仕の实践に取り組んでいけるような環境づくりを心がけ、会員ひとりひとりの心が豊かで笑顔が溢れるような活動をさせていただく所存でございます。会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 【職業奉仕委員会】

委員長 吉岡 央

副委員長 片山 昭生

委員 大道 光肇 栗林 定正

委員 齋藤 浩記 谷川 富成

今年度、職業奉仕委員会では、RI会長『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』のテーマ及び、杉村会長の『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』のスローガンをもとに委員会活動に取り組んでまいります。

85年の長きに渡り築き上げられた歴史と伝統への理解をより深めながら、ロータリークラブだけがもつ特質ともいえる「職業奉仕」活動を行い、社会へ奉仕していきたいと考えます。

私のようなキャリアの浅い会員をはじめ、改めて皆様と共にこの「職業奉仕」の意味を知る機会の扉を開き、「4つのテスト」を各論としながら倫理的に職業を営み職業を通じて社会に奉仕することで社会的責務を果たして参ります。

## 【国際奉仕委員会】

委員長 荒井 剛

副委員長 水口 喜文

委員 青田 敏治 柿田 英樹

佐藤 茂良 羽田野貴志

ロータリーが持つ独自性に「職業奉仕」と「国際奉仕」があると言われております。そのうちの一つである「国際奉仕」について、当委員会として、RI 会長のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」及び本年度杉村会長が掲げた「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」に沿った形での国際奉仕活動に努めたいと考えております。

新型コロナ感染症の中、思うような国際奉仕活動ができない状況ではありますが、台北中央 RC との姉妹クラブ協定締結から 5 年が経過し、本年は、当クラブ創立 85 周年を迎えることもあり、あらためて台北中央 RC との交流・関係強化に努めたいと考えております。

また、これまで当クラブで実施した過去の国際奉仕事業の検証および今後の事業展開についても新型コロナの状況を踏まえながら考察したいと考えております。

会員皆様のご協力をお願いいたします。

## 【青少年奉仕委員会】

委員長 佐藤 貴之

副委員長 浅野 清貴

青木 泰憲 岩田 信一

委員 黒田 恒史 林 英樹

久島 貞一

創立85周年を迎える本年度の青少年奉仕委員会では、杉村会長の掲げられた『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』を軸に、未来ある青少年の為に「我が地域を育む」をより意識して頂けるように一年間活動してまいります。

未来の地域社会が豊かである為には青少年達の健全な育成が不可欠であると考えております。

その為にも会員の皆様のご指導・ご協力を何卒宜しくお願い致します。

(活動内容)

1. 全道中学親善硬式野球大会への支援・協力
2. ローターアクトクラブ・インターアクトクラブとの交流
3. ライラセミナーへの参加
4. 釧路ロータリーカップ・ひがし北海道アイスホッケー大会の開催

## ロータリー財団・奨学推進委員会

委員長 甲賀 伸彦

副委員長 栗林 延次

本年度当委員会は、「ロータリー財団寄付推進委員会」「米山記念奨学金委員会」「嵯峨記念育英委員会」の三委員会にて構成しております。米山月間・ロータリー財産月間などを通じて、財団並びに奨学会の意義をより理解していただけるような活動を進めてまいります。

また、当クラブに由来する「公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会」についても、安定的かつ持続的な奉仕活動の一つとして推進できるよう資金の確保にも努めてまいります。

杉村会長の基本方針のもと『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』のスローガンにのっとり、当委員会の意義・使命の理解を深めつつ釧路ロータリークラブのメンバーと語り合い、それをそれぞれの立場で持ち帰り実践していただくことで、落とし込まれるものと信じております。

杉村年度は、コロナ禍からの再出発の一年と位置付けられ、さらには歴史と伝統に裏付けられる創立85周年を迎えます。家庭・職場・そして地域にロータリー活動を広げていく中で、当委員会に与えられた役割を全うしていきたいと考えております。

会員皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 【ロータリー財団寄付推進委員会】

委員長 濱谷美津男

副委員長 米倉 幸泰

委員 泉 敬 伊藤 邦彦  
小船井修一

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付は、ロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

地区ロータリー財団委員会の柱として【ポリオ撲滅】【グローバル補助金・地区補助金の活用の推進と支援】【寄付ゼロクラブをゼロ】が上げられています。

ロータリー財団の重要性・内容を発信し、その使命をメンバーへ理解していただくため活動してまいります。また寄付の推進に努めます。

会員メンバー皆様のご協力よろしくお願いします。

## 【米山記念奨学会委員会】

委員長 川本 和之

副委員長 米本 富夫

委員 浅野 洋 伊貝 正志  
吹谷 浩康

米山のシンボルマーク、重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて一人ひとりの胸に世界平和を願う“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。二つの手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

将来、母国と日本の懸け橋となり、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とし活動して参ります。

1. 米山チャリティゴルフをなゆたの会との協力を通して、共同開催し米山記念奨学会への寄付の理解と推進を図ります。
2. 米山功労者の増加を目的に、特別寄付の協力をお願いする。
3. 米山カウンセラーと協力して、奨学生の活動を支援します。

## 【嵯峨記念育英会委員会】

委員長 清水 輝彦

副委員長 梁瀬 之弘

委員 木村 豊年 本間 榮一

委員 吉田 潤司

当委員会は、釧路ロータリークラブが長年にわたり独自の育英会として運営発展につとめてきた公益財団法人 嵯峨記念育英会を支援する委員会です。思ってもいなかったコロナ禍からすでに一年以上、しかもその収束も見えない状況ではありますが、本年度も引き続き青少年の育英事業の推進と発展に努め活動していきます。

1. 本年度新しく奨学生となった一年生を例会に招待するのが理想だが、コロナ禍で困難な場合には何らかの方法で会員に紹介し、祝福並びに激励する。
2. 来春に卒業する奨学生を例会に招待するのが理想だが、コロナ禍で困難な場合には何らかの方法で卒業後の進路や今後の夢や抱負を話していただき、記念品を贈呈するとともに祝福並びに激励する。
3. コロナ禍ゆえ集まることもままならないかもしれないが、何らかの方法で今後の財団の事業継続と発展のための財源確保を計るべく、会員に理解と協力をお願いする。

S. A. A

S. A. A 邵 龍 珍

副S. A. A 後藤 公貴

当クラブ例会及び会合において、創立 85 周年を迎える歴史と伝統あるロータリークラブとしての品位と秩序を保つよう努力し、会長・幹事・各委員長と相談、連携、協力しながら、会の進行がスムーズに行われるよう努めてまいります。

1. 例会は、時間厳守のもと開会し、円滑に運営できるよう環境づくりに努めます。
2. 御来賓や来訪ロータリアンを温かくお迎えし、特に御来賓のスピーチ及びご講演者の講話時は私語を慎むようお願いし、気持ち良くお帰り頂けるよう努めます。
3. クラブ例会は、会員相互の親睦を図る場でもあります。 年間に数回、例会時の座席を工夫し多くの会員と交流できる場になるよう、親睦委員会と協力しながら取り組んでいきます。